

特集

すべての子どもが 生き生きと輝く熊本づくり



身近な地域で安心して子どもを育て、大切な子どもたちが健やかに育つことができる地域社会の実現を目指して、県では、県民の皆さんに子育ての楽しさや素晴らしさを伝えるとともに、一人一人が子育てを支援していくという取り組みを進めています。今回は、子育てサロン「ばあちゃんち」をはじめ、地域全体で子育てを応援する取り組みや、子育てしやすい環境づくりに向けた、さまざまな支援策をご紹介します。

子育てサロン 「ばあちゃんち」(植木町)



ただいま
太田隈フジエおばあちゃんと、近隣の保育園に通う親子の皆さん

子育てを楽しむ取り組みが広がっています！

「ばあちゃんち」は、築100年を超える子育て支援の拠点。親子が集い、共同作業の中から、生活の知恵や暮らしの作法などが受け継がれています。子どもたちは、大きな家の縁がわや広い庭で走り回り、お母さんたちにとっても触れ合いの場となっています。



「納屋」では、調理師の先生が、子育て中のお母さんたちに料理のレッスンです。お母さんたちも奮闘中です。



「畑」では、麦や大豆、野菜などを栽培しています。子どもたちは、大きな大根を掘ってうれしそうです。

子育てを応援するさまざまな取り組みを、県では、「子ども輝き条例」を制定して、サポートしています。

知事室から



熊本県知事 潮谷義子

子どもは、未来社会からの預かりものであり、かけがえのない存在です。そんな思いから、子どもや子育てにやさしい熊本の実現に向けて、これまで全力で取り組んで参りました。

今、子どもたちを取り巻く状況は、少子化や核家族化による異世代との触れ合いの減少、地域でのつながりの希薄化などにより、大きく変化しています。また、子どもへの虐待やいじめ、自然環境の悪化など、子どもたちの主体的な育ちを阻害する要因が、家庭、学校、地域に数多く存在する中、県では、県民ぐるみで子どもの育ちを支えていこうと、昨年十月、「子ども輝き条例」を制定しました。

植木町の子育てサロン「ばあちゃんち」や、御船町にある親同士の交流の場「つどいの広場『ゆう・ゆう』」など、各地でさまざまな取り組みが進んでいます。今後、「子育てするなら熊本で」といわれる子育て先進県を目指して、地域で安心して子育てができるよう、きめ細かな支援を進めて参ります。

すべての子どもたちが、いつも生き生きと輝いていられるよう、家族での団らんや、常に愛情を持って接するなど、それぞれの立場でできることから始めましょう。

主な記事

- ① ② ③ 特集／すべての子どもが生き生きと輝く熊本づくり
- ④ ⑤ <コラため情報> 感染性胃腸炎に気を付けて
- ⑥ ⑦ お知らせ・来て見てだより
- ⑧ 新幹線くまもと創(づ)り・この場所を、必要としている人がいます